



し」。守備駒を減らして受け  
るKotoの手筋です。守備駒  
を増やす冒頭2手との組合  
せが絶妙で、初形に15歩を  
加えた詰上りが出現。打歩  
詰が打桂詰へ変換されまし  
た。これは先打突歩詰の変  
種なので、やはり「先打付  
歩詰」と呼ぶのが妥当でし  
ようか。

岩村修―先打突歩詰ならぬ先  
打桂歩詰。初手を入れてお  
かないと13桂成が王手にな  
らないですね。  
☆残念ながら初手13桂成の  
誤答がありました。これだ  
と玉を取る手が「孤立禁」  
で無効になります。

西村恒雄―最後は15歩が現  
れた。73歩は龍を動けるよ  
うにする駒。

☆龍の孤立を防ぐ73歩。これ

が玉に近いと余詰が生じま  
す。龍の遠距離往復のため  
恣意的に離しているわけで  
はありません。  
③打歩協力詰 17手  
神無太郎

6	5	4	3	2	1	
						一
						二
			王			三
						四
						五
						六
						七
						八
						九

攻方持駒 桂G2  
受方持駒 残り全部+G2

45桂、34玉、89G、78G、  
67G打、56G、同G、23玉、  
33桂成、12玉、23G、45歩、  
同G、21玉、32圭、11玉、  
12歩迄17手。

【打歩】打歩詰以外の詰を失  
敗とする。

【Grasshopper (G)】クイー  
ンの線上で、ある駒を1つ

飛び越したその直後の地点  
に着地する駒。そこに相手  
の駒があれば取れる。

☆ここから2題は打歩詰を義  
務化したルールの作品。

☆打歩詰の達成には歩が必要  
ですが、Gは駒を跳び越す  
駒なので、歩合を直接取る  
ことはできません。

中澤宣幸―玉方のGの使い方  
がカギでした。

駒井信久―非限定がないこと  
をヒントにしたら、最遠打

・最遠中合に導かれた。

☆前半の目標は同方向にGを  
二枚並べること。合駒をも  
う一枚のGで取る狙いです。  
その鍵が4手目のG合と6  
手目の移動合。最初に王手

したGに対する合駒それ自  
体が跳躍し、二枚目のGの  
合駒となることで最短でG

二枚の並びを作ります。G  
の乱舞で歩を取る準備がで  
きました。

☆後半は桂とGの連携で歩を  
獲得。雪隠詰の打歩詰を達  
成します。なお2手目44玉  
だと手順が縦型になり、玉  
を隅に追えません。論理的  
に可能性を絞り込むことが  
必要な作品です。

④打歩協力詰 193手  
たくぼん

18と、同玉、29と、同玉、

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
							王	王	四
							香	金	五
							香	金	六
							香	王	七
							香	と	八
							香	と	九
歩	金	銀	銀	銀	銀	香	香	と	
歩	歩	歩	歩	歩	歩	香	歩		
歩	歩	歩	龍	龍	と	と			

持駒 なし

39と、18玉、29と、17玉、  
18と、同玉、29龍、17玉、

「17角、28飛…89飛、同杏、  
…79飛、同杏」、

した後は12手で2筋ずつ呼  
び出します。

⑤ PWC協力詰 307手  
神無七郎

19龍、18飛、同龍、同玉、  
『19飛、28玉、29飛、17玉、

「1」と同様の12手を2回繰  
返し、杏を39に運ぶ」

森美憲—最初の馬を剥がすの  
と、それ以降の駒を剥がす  
のどで、がらりと手順が変  
わるのが面白い。

19飛、18飛、同飛、27玉、  
17飛、28玉、27飛、19玉、

「17角、28飛…89飛、同と、  
27飛、28飛…79飛、同と」、

☆最初の呼び出しの20手は  
14手の前半と6手の後半の  
「交互反復」と捉えること  
もできます。次の呼び出し  
は角で飛を取る6手と飛で  
飛を取る6手の交互反復。

同飛、29玉、59飛、同馬』、  
『』と同様の20手を繰返し、

同角、18玉、19香、27玉、  
28歩迄193手。

本作は二種の交互反復を含  
む珍しい作品です。

馬を39に運ぶ」

作者—破調の少ない趣向で楽  
しんで頂ければと思います。

川端潤—各回39飛が打てる  
ようにお膳立て。上質のパ  
ズル。

19飛、28玉、29飛、17玉、  
19飛、18飛、同飛、27玉、

☆狙いは明快。「呼び出しはが  
し」で九段目の駒を一掃し  
、98歩を入手して打歩詰を  
実現します。

☆21手目17飛や106手目39玉  
等でも作意と似た手順が可  
能ですが、手数超過。はが  
した角香を使い切る収束も  
上手く、作家視点でも勉強

27飛、39玉、17角、28飛、  
同角、29玉、79飛、同馬、

同角、29玉、59飛、同馬」、  
「1」と同様の12手を繰返し、

馬を39に運ぶ」

69飛、同馬、27飛、28飛、  
同角、29玉、59飛、同馬」、

「1」と同様の12手を繰返し、  
馬を39に運ぶ」

筋ずつ呼び出し、馬をはが  
同角、19玉、28角、29玉、

同角、19玉、28角、29玉、

筋ずつ呼び出し、馬をはが

筋ずつ呼び出し、馬をはが

同角、19玉、28角、29玉、

筋ずつ呼び出し、馬をはが

筋ずつ呼び出し、馬をはが

同角、19玉、28角、29玉、

筋ずつ呼び出し、馬をはが

筋ずつ呼び出し、馬をはが

同角、19玉、28角、29玉、

筋ずつ呼び出し、馬をはが

筋ずつ呼び出し、馬をはが

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
マ	マ	マ	マ	マ	マ	マ	マ	マ	四
									五
王	糸	糸	糸	糸	糸	糸	糸	皇	六
								香	七
									八
									九

攻方持駒 歩 65  
受方持駒 なし

- 97歩、87玉、88歩、78玉、
- 79歩、68玉、69歩、58玉、
- 59歩、48玉、49歩、38玉、
- 39歩、27玉、「28歩、17玉
- ／27香、18歩、28玉、29歩、
- 37玉「1」と同様の6手を4
- 回繰返し、香を67に運ぶ」
- 78歩、67玉／77香、68歩、
- 78玉、79歩、88玉、89歩、
- 87玉、88歩、77玉／87香、

78 歩、88 玉、89 歩、97 玉、

98 歩、87 玉 / 97 香、88 歩、

98 玉、99 歩、88 玉、89 歩、

97 玉 / 88 香、98 歩、96 玉、

97 歩、95 玉、96 歩、85 玉、

86 香 / 88 歩、96 玉、97 歩、

87 玉、88 歩、78 玉、79 歩、

77 玉、78 歩、86 玉 / 77 香、

87 歩、97 玉、98 歩、87 玉、

88 歩、78 玉、79 歩、88 玉、

89 歩、87 玉、88 歩、77 玉 /

87 香、78 歩、88 玉、89 歩、

78 玉、79 歩、87 玉 / 78 香、

『88 歩、86 玉、87 歩、85 玉、

86 歩、75 玉、76 香 / 78 歩、

86 玉、87 歩、77 玉、78 歩、

87 玉、88 歩、86 玉、87 歩、

76 玉 / 86 香、77 歩、87 玉、

88 歩、77 玉、78 歩、86 玉 /

77 香、87 歩、96 玉、97 歩、

87 玉、88 歩、78 玉、79 歩、

68 玉、69 歩、77 玉 / 68 香』

〔』と同様の 32 手を 5 回繰返し、香を 18 に運ぶ〕

28 歩、26 玉、27 歩、25 玉、

26 歩、15 玉、16 香 / 18 香、

26 玉、27 歩、17 玉、18 歩、

27 玉、28 歩、16 玉 / 27 香、

17 香迄 307 手。

【PWC】取られた駒は取つた駒が元あった場所に復元する(復元を / で表記)。位置交換の結果、二歩や、行き所のない駒になる場合は、通常の駒取りと同じで持駒になる。

☆香を八段目、歩を九段目に置き、六段目に並んでいる歩を「行き所のない駒」にして消す趣向作。六段目に残る香を、毎回八段目に戻さねばなりません。

駒井信久―歩と香だけで驚きの長手数。歩を剥がすサイ

クルの 2 回目からは左辺が

広がり、2 手と 1 歩節約で

きるのが見逃せないポイント。

☆4 つの筋を利用し、32 手・

歩 6 枚を使つて歩を消すのが基本手順ですが、盤の左

端は 3 つの筋しか使えない

ので、34 手・歩 7 枚が必要です。本作は持駒の歩の枚

数を「無限枚」としたかったのですが、この破調による誤答を防ぐため、歩の枚

数を明示しました。

☆歩は枚数が多い駒ですが、本作は標準駒数では足りません。標準の駒数・盤の大きさの制約を外した「一般化詰将棋」は、量と質の関係を探る重要な研究分野だと思います。

【総評】

福原徹彦―歩が中心だと手が限られてきますが、手が限られるがゆえに解き易くもあり解き難くもありますね。

☆将棋は持駒が使えるので歩も強力な駒です。詰将棋では特にそう感じます。

【各題の正・誤・無解者数】

① 15 1 5 ② 12 3 6 ③ 4 0 17

④ 8 0 13 ⑤ 2 0 19

【解答成績】(太字 5 名当選)

【全題正解】駒井信久、須川卓二【4 題】占魚亭

【3 題】川端潤、中澤宣幸、西村恒雄、福原徹彦、森美憲

【2 題】岩村修、田中孝海、山本強志、和田裕之、

【1 題】石川英樹、宮田敦史、山下誠、和田登

【0 題またはコメントのみ】市原誠、鈴木彊、武田静山、原岡望、藤井美大